

日時： 2026 年 3 月 11 日（水） 11:35～12:25

場所： 日本原子力学会 2026 年春の年会 D 会場（熊本城ホール 3F 会議室 A4）

参加者： 40 名程度

### 【表彰】

#### 1. 令和 7 年度炉物理部会賞優秀講演賞（'25 年秋の大会） 受賞者紹介、表彰

資料 64-01 を用いて、部会長より令和 7 年度炉物理部会賞 優秀講演賞（'25 年秋の大会）の表彰が行われた。被受賞者は以下の 4 名。

件名：低計数率条件下における Physics-informed Neural Networks を用いた未臨界度監視手法に関する検討

受賞者：森部 太陽（名古屋大学）

件名：炉雑音の自己共分散解析による未臨界度推定(3) フィッティング式の改良

受賞者：廣田 諒我（名古屋大学）

件名：ARKADIA における炉心設計最適化プロセスの整備(4) 相関係数を用いた多目的最適化結果の分析

受賞者：桑垣 一紀（日本原子力研究開発機構）

件名：ウラン需要増加に対応する Pu 有効利用燃料の開発

受賞者：荒木 颯太（日立製作所）

### 【審議事項】

#### 2. 令和 7 年度予算実績及び 8 年度予算案

資料 64-02 を用いて、財務小委員会担当幹事より、令和 6 年度予算執行状況と令和 7 年度予算案について報告され、承認された。

国際会議旅費援助について、令和 8 年度は PHYSOR が開催されることから、積極的な活用が呼びかけられた。

#### 3. 2026 年度運営小委員会委員について

資料 64-03 を用いて、部会長より、2026 年度の運営小委員会委員体制が提案され、承認された。

#### 4. 2026年秋の大会企画セッションテーマについて

資料 64-04 を用いて、学術交流小委員担当幹事より、2026年秋の大会における炉物理部会企画セッション内容の検討状況が報告され、検討内容を進めていくことで承認された。

2026年秋の大会の企画セッションは、熱流動部会と合同で“軽水炉でのマルチフィジックス解析の最前線”をテーマに取り上げる予定で、熱流動部会の担当幹事と詳細の検討を行っている。

#### 【報告事項】

#### 5. 第57回炉物理夏期セミナー開催計画

資料 64-05 を用いて、セミナー小委員会担当幹事より、令和8年度(第57回)炉物理夏期セミナーの準備状況が報告された。

令和8年度炉物理夏期セミナーの日程は2026年8月26日～28日で決定し、テーマは人材育成事業で整備を進めているオープン教材のうち臨界安全に関する部分を取り上げることが報告された。若手研究会は今後、学生・若手担当幹事と検討を進める。

#### 6. 炉物理部会新規取り組みに対するアンケート結果の共有

資料 64-06 を用いて、部会長より炉物理部会新規取り組みに対するアンケート結果について報告された。若手優秀講演賞はアンケート結果を受けて審査項目の見直しを実施、春の年会後再度アンケートを行い、更なる改善を進めていく方針が示された。

#### 7. 炉物理部会誌追悼特集号の発刊および学会誌への1F特集記事の寄稿について

部会長より故仁科先生に対する炉物理部会誌追悼特集号の企画とそのスケジュールについて報告された。また、学会本部から部会に依頼のあった学会誌ATOMOSの1F特集記事への寄稿の方針が示された。

#### 8. SNS活用検討タスクチーム活動報告

資料 64-08 を用いて、SNS活用検討タスクチームの活動状況についてタスクチームリーダーを務める相澤氏より報告された。

#### 9. 新旧部会長からの挨拶

2025年度炉物理部会長 牛尾氏から任期期間中の部会運営について、部会員から得られた協力に対して感謝が述べられた。2026年度炉物理部会長 須山氏から新体制での部会発展に対する抱負が述べられた。

以上